



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月11日
我孫子市小中一貫教育だより
第356号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふるさと だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「地方自治と私たち」

湖北中学校で3年生社会科公民的分野「地方自治と私たち」の単元を利用し、「我孫子市でできる地方創生」をテーマとした Abi-ふるさとの授業が展開されました。

初めに自分たちの生活を例に挙げ、他の自治体と異なる部分や我孫子市のよさについて考えました。生徒に「将来、我孫子市に住みたいですか？」と質問をすると、我孫子市に定住したいと考えるには課題があることが浮き彫りになりました。

市内各地区の状況や人口の推移などのデータを見ながら、多角的に我孫子市を分析した後、改めて他の自治体の取り組みを調べました。町の発展や定住化促進に向けて先進的な政策や町おこしが行われているいくつかの自治体の取り組みを調べ、ワークシートに記入しました。調べたことをグループで共有すると「これは我孫子市では無理だと思う。」「これはぜひ我孫子市でも真似するべきだ。」などといった意見に発展しました。先生からは、それを考える視点の一つとして、我孫子市の財政が大切であることも告げられました。



我孫子市の現状と課題を認識し、一人ひとりが考え表現しながら社会参画意識の醸成をねらった授業であると感じました。複数の教科を連携させ、ふるさと学習のさらなる充実と発展を期待しています。

Abi-ふるさと「田口 静」

我孫子第二小学校、6年生道徳の授業で「田口静」を採り上げた Abi-ふるさとの授業が展開されました。田口の生き方を知り、人の役に立つことや自分の長所を誰かのために生かそうという思いをもつことをねらいとしています。

田口が「赤ひげ先生」と慕われていたという逸話から、「田口静はなぜ赤ひげ先生と呼ばれていたのだろうか」という学習課題が示されました。副読本「ふるさと我孫子の先人たち」を活用し、田口が取り組んだことや行いに対してすごいと思ったことについて、根拠を示しながらワークシートに記入しました。

記入後は、グループ内で一人一人の考えを共有しました。それを基にグループでの意見をまとめ、全体に発表しました。グループから学級全体へと視野を広げていくことで様々な考えに触れ、お互いの考えから学び合い、理解を深めることができました。

授業の最後には、田口静は「多くの人に親しまれた人」「どんな人より真面目に取り組んだ人」「自分のことより他人を優先した人」などの意見が発表されました。ふるさと我孫子の偉人について認識を深めるために有効な授業であったと思います。

